

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月24日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.4 m ³ /h	14.5 °C	0.88 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.8 m ³ /h	19.3 °C	5.03 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 1.7 m ³ /h	17.1 °C	0.24 kPa g	A系： 0.07 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (2/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.3 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.1 °C
3号機	循環冷却システム	停止中	20.0 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	9.1 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【3号機】

・2016/2/24 5:20～2/25 17:00(予定) スキマサージタンク蓋の取り替え作業等を行うため、循環冷却システムを停止。停止時のSFP水温度は 20.0°C。冷却停止時間におけるSFP水温度上昇率は 0.097°C/h で、停止中のSFP水温度上昇は最大で約 3.5°C と評価されることから、運転上の制限値 65°C に対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題ない。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/24 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。

- ・一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/17]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/24 10:06より海洋への排水を開始。なお、排水状況については、同日10:20に漏えい等の異常がないことを確認。その後、14:48に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は683m³。
- ・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/18]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/25に海洋へ排水予定。

【地下水バイパスの状況】

- ・地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の分析結果[採取日2/10]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、2/23 10:09より海洋への排水を開始。その後、同日16:31に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は1,587m³。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・2/23に排水路から採取した分析結果のうち、切替C排水路35m盤出口および構内側溝排水放射線モニタ近傍の全β放射能分析結果が、過去の変動範囲内であるものの、前回値(2/22採取)と比較して上昇していることを確認。

<切替C排水路35m盤出口>

2/22採取 検出限界値未満(検出限界値:11 Bq/L)

2/23採取 100 Bq/L

<構内側溝排水放射線モニタ近傍>

2/22採取 検出限界値未満(検出限界値:4.2Bq/L)

2/23採取 110Bq/L

なお、上記2箇所の上流側に設置されている構内側溝排水放射線モニタの指示値に有意な変動がないこと、および港湾内の分析結果に有意な変動がないことを確認。

- ・その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上